

講義コード	1502 1501 1513 1512 1515	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	ソツギョウケンキュウシドウ	(フリガナ)	イシカワショウイチ/クニヒロカツヨ/コネガワマドカ/ヤマグチキ オト/ヤスナガマサオ
授業科目名	卒業研究指導(前半)	担当教員名	石川正一/国広勝代/古根川円/山口季音/安永正夫
英文授業科目名			
基準年次(開講期)	4年次(通年)	履修形態	必修
曜日/時限/講義室	各ゼミ担当教員による		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	演習中心
単位	4	週時間	1
授業のキーワード	子ども生活、先行研究の収集・分析、研究方法、研究計画、プレゼンテーション		
授業概要・目的	卒業研究指導(前半)では、子ども生活学領域に関する内容の卒業論文をまとめるための準備を行うことを目的としている。まず、自らの問題意識に基づき、先行研究の分析を行い、研究テーマを設定する。次に、その内容について、適切な分析方法を選択し、全体の研究計画を立てる。第一回中間発表では、卒業論文の研究計画を各自が報告し、他の参加者からの質疑に答える。		
到達度評価の 評価項目	①子ども生活学領域に関する内容の卒業論文のテーマを見つける。 ①研究テーマにそった分析方法を選択し、研究計画を作成、報告できるようになる。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 卒業研究とは		
第2回	研究テーマの検討 それぞれの研究テーマを決定する		
第3回	先行研究の収集 研究テーマに沿った文献・資料を探索する		
第4回	先行研究の分析 収集した先行研究を分析し、調査課題を検討する		
第5回	調査テーマの決定 それぞれの課題に合った調査方法を決定する		
第6回	研究方法の選択 適切な研究方法は何か議論する		
第7回	研究方法の決定 それぞれの課題に合った研究方法を決定する		
第8回	研究計画の作成 これまでの作業を振り返り、研究の計画を練る		
第9回	問題意識の明確化 研究における問題意識を検討する		
第10回	中間発表用のレジュメ作成① 研究の目的について		
第11回	中間発表用のレジュメ作成② 研究の方法について		
第12回	中間発表用のレジュメ作成③ 研究計画について		
第13回	プレゼンテーション準備 発表資料作成		
第14回	第一回中間発表 発表および質疑応答を行う		
第15回	中間発表の反省と今後の計画 中間発表で得た課題について検討する		
教科書・参考書等	各ゼミ担当教員による。		
授業で使用する 機器等	各ゼミ担当教員による		
予習・復習への アドバイス	テーマに関する最近の新聞記事・文献等をチェックしておくことが望ましい。		
履修上の注意・ 受講条件等	・全学必修科目。		
成績評価の基準等	卒業研究への取り組み姿勢・研究内容・発表を総合的に評価する。 1) 授業に取り組む姿勢(50/100) 2) 研究発表(50/100)		
メッセージ			
オフィス・アワー	各ゼミ担当教員による		
その他			